

2019 年度 教育実習 I 英語科学習指導案

日 時：2019 年 9 月 9 日（月）第 6 校時
授業会場：3 年 E 組教室
授業者：英語語科 8 番
指導教諭：

1 単元名 Places to Go, Things to Do (NEW CROWN 3 年)

2 単元の目標

(1) 知識及び技能

①関係代名詞の意味や用法を理解することができる。

(2) 思考力、判断力、表現力等

②教科書の登場人物が訪れたい国について、聞いたり読んだりして内容を理解することができる。

③自分が訪れたい国とその理由について、友と伝え合うことができる。

(3) 学びに向かう力、人間性等

④教科書の登場人物や友が訪れたい国についての内容を理解しようとしたり、自分の行きたい国について伝えようとしたりしている。

3 単元展開

(全 10 時間中 第 9 時)

学習活動	◇指導・助言 ◆予想される生徒の姿	評価規準	時間
1 L5 の表紙にある四つの国のうち、一つの国について調べ、共に紹介する。	◇教科書にある四つの国を提示し、やり取りをしながらそれぞれの国について、簡単に情報を共有する。その後自分の最も興味のある国について、タブレット端末で情報を調べ、ペアで紹介し合うように促す。 ◆自分で調べたり、友の発表を聞いたりして、初めて知ることが多くあった。なかなか日本語で得た情報を英語で説明するのは難しい。自分が本当に行きたい国について紹介したい。	④興味を持った国についてタブレット端末を用いて調べ、友に紹介しようとしたり、友の紹介を聞こうとしたりしている。【主体的に学習に取り組む態度】	1
2 教科書の登場人物が訪れたい国や地域の文化・特徴について理解を深め、その内容について話したり書いたりする。	◇教科書の内容を基に、自分だったらその国を訪れてみたいかどうかやり取りをしたり、ポストカードのメッセージを考えて書いたりするように促す。 ◆友とやり取りをしたり、友が書いた英文を読んだりすると、国の紹介をするときの様々な視点や英語の表現があったので、活かしていきたい。 ◇教科書の本文から関係代名詞(主格・目的格)を取り上げ、意味や用法を説明したり、口頭練習をしたりする。 ◆who、which、that を用いて「～する…」などと表現することができ、教科書の英文の意味を理解することができた。	①関係代名詞の意味や用法を理解している。【知識・技能】 ②登場人物が訪れたい国とその理由を読み取っている。【思考・判断・表現】	3
3 教科書のスピーチ原稿を読み、内容や構成を理解することができる。	◇Ken の原稿を読み、Ken がブラジルを訪れたい理由と共に、どのような構成で原稿が書かれているか読み取るように促す。 ◆Ken がブラジルを訪れたい理由は三つあった。Opening、body、Closing の三段構成になっていたり、body を First、Second、Third などと表現することで、論理的な英文になっていた。なぜ Ken はサッカーについて始めに話したのか理由を考えることで自分のスピーチにも活かそう。	②登場自分が訪れたい国とその理由やスピーチの構成を読み取っている。【思考、判断、表現】	3
4 自分の行きたい国について情報を集め、構想マップを基に発表することができる。	◇タブレット端末を用いて自分が行きたい国についての情報を集めたり、紹介する際に使用する写真を選んだりするように促す。 ◆調べていくとまだ自分が知らないことが多くあったので、これらも魅力として共に伝えたい。 ◆友と行きたい場所についてやり取りをすると、友の紹介の様々な工夫に気付いた。自分の発表に取り入れてみたい。	③自分の行きたい国とその理由について自分の考えを理由とともに話している。【思考、判断、表現】 ④聞き手を意識しながら話そうとしている【主体的に学習に取り組む態度】	3 (本時は第 2 時)

4 本時案

1 主 眼

自分の行きたい国について紹介し合う場面で、1回目の発表を終えた後、友のスピーチのよさを全体で共有し、共有したことを基に「構想マップ」を見直すことを通して、自分が行きたい国について、事実や自分の考えを整理し、まとまりのある内容を話すことができる。

2 本時の評価基準

友の発表を参考にしながら、「構想マップ」を見直して自分の行きたい国について紹介している。

3 展 開

段階	学習活動	予想される生徒の反応	◇教師の指導・援助	時間	備考
導 入	1 前時を振り返り、本時の見通しをもつ。	ア 久美はゲルの詳しい説明をしていた。ページは自分の夢と関連付けて発表をしていた。メイリンは発表の最後に質問をしていた。健は理由を三つあげながら説明をしていた。順番にも理由がありそうだ。 イ 自分が行きたい場所について前時に調べたことを、友達に紹介したり、友の行きたい国について聞いてみたい。	◇教科書の登場人物である4人のピクチャーカードを提示し、それぞれのスピーチのよさを確認する。 ◇イのような反応を取り上げ、本時は、ペアでやり取りしながら自分の行きたい場所について紹介することを共有し、Today's Goalを設定する。	5分	ピクチャーカード
	2 1回目の発表を行う。	Today's Goal: ペアで自分の行きたい国について紹介しよう。 生徒の発表(例) I want to go to Austria. I like music very much, so I want to go to Vienna and watch opera. I like musical, too. Austria was stage of "Sound of Music." I want to see its place.	◇ペアを作り、前時に作成した構想マップとタブレット端末に保存した写真を用いて、自分の行きたい国についての発表するように促す。発表はそれぞれ時間を分けて行い、発表の最中に聞き手は質問等をしてよいことを伝える。	5分	タブレット端末
展 開	3 友のスピーチのよさを全体で共有し、構想マップやタブレット端末の写真を見直す。	ウ ○○さんは、久美のように一つの事柄について詳しく説明していたようだ。一方△△さんは、三つの事柄を、順序を決めて発表していたようだ。 エ 私は自分がしたいことだけを並べた発表をしていたけれど、さらに興味をもってもらえるようにするには、どのようにしたらよいだろうか。 オ 私は特にウィーンに行きたいので、さらにウィーンについて調べて、情報を付けたそう。また、ミュージカルことは省こう。	◇アのような工夫を行っている生徒を何人か指名し、それぞれの発表のよさについて全体で共有する。 ◇エのような考えを全体に位置付け、友の発表のよさから、改めて自分の発表をどのようなものにしていきたいか考え、構想マップやタブレット端末の写真を見直すように促す。 ◇場合によっては、付け足したい情報等ある場合は、短時間タブレット端末で調べてもよいことを伝える。	15分	
	4 2回目の発表を行う。	生徒の発表(例) I want to go to Austria because I like music very much. Vienna in Austria is called "city of music." Have you ever heard of it? If I go there, I want to watch opera and listen to music which is played by an orchestra. I have wanted to see it since I was a child.	◇1回目の発表の反省を踏まえ、ペアを変えて発表するように促す。 ◇発表が終わったら、自分が話したことをノートに書くように促す。その際、机間指導を行い、正しく表現できているか確認する。 ◇ノートに書いたら、音読するように促す。	15分	
終 末	5 本時を振り返る。	本時の評価規準に達していない生徒への手だて ①1回目のペアでの活動の際に集めた情報を発表として組み立てるのが難しい生徒には、集めた情報をどの順で話したいのか順番を付けるように促す。 ②日本語で得た情報を適切な英語で表現するのが難しい生徒には、机間指導を行い、メモの日本語を共に英語にしたり、友の表現を参考にしたりするように促す。 カ 1回目から2回目にかけて、友の発表を参考に組み立てなおすことで、より聞き手に興味をもってもらえるような発表とはどのようなものなのかを考えながら構想を練ることができた。 キ 次回、さらに多くの友達の発表を聞くのが楽しみである。ただ友達がどこに行きたいかだけでなく、発表の仕方はどのようなかにも着目して、発表を聞きたい。	◇本時の振り返りをノートに記入するように促す。 ◇カやキのように、1回目から2回目への変化について触れている生徒や、次回の発表を聞く際の姿勢について触れている生徒の意見を取り上げ、全体で共有する。 ◇次回はグループで発表した後、単元の振り返りを行うことを伝える。	10分	

4 反省